



声のラン

答

市民農園は、小面積の農地を利用して野菜や花を育てる農園です。自家用野菜や花の栽培を通じた都市部住民のレクリエーションや高齢者の生きがいづくり、子どもの体験学習などさまざまな目的で利用されています。

以前は、農地の賃借は農業者のみに限られていました。しかし、身近なところで土いじりや緑とふれあいたいと考える方が増えてきたため、市民農園の制度が設けられ、農業者以外の市民にも農地の貸付ができるようになりました。

市内では個人や団体などが市民農園を開設しています。農園によって募集時期や作付種目、面積、利用料金などが異なります。利用する農園は、作物の栽培面積や農園内の給水施設、駐車場、トイレなどの有無を参考に決めてください。

希望する農園が決まったら、開設者に申し込み、利用契約を結んで農園の利用をはじめます。

市民農園を利用するときは、
○ほかの利用者に迷惑をかけない
○雑草を茂らせない

市民農園はどうすれば借りることができですか？

《60歳代男性》

○農業は人や動物に危険を及ぼさないよう適切に使用するなどの注意が必要です。

市民農園は、利用者自ら栽培することが原則です。野菜の栽培方法などは、農園の開設者から指導を受けることができます。栽培方法の手引きを発行している農園もあります。

夏から秋にかけて、丹精込めて作った野菜などの収穫時期を迎えます。自ら作り、収穫した食べ物のおいしさは格別です。ぜひ、自分で作った農産物で食卓を彩ってください。

※市民農園の情報は、広報ちとせの「たうんが이드」欄などを参考にしてください。



自家製野菜などをたくさん食べて健康な生活を送りましょう

【ワンポイントメモ】

毎年同じ場所に同じ種類の野菜を作ると、病気にかかりやすくなったり生育が悪くなったりすることがあります。土から伝染する病気や害虫、肥料や栄養分の偏りなどがおもな原因です。同じ野菜は数年おきに場所をかえて作るようにしましょう。

声

私は、会社を退職し、時間にゆとりができました。そこで、野菜作りをして土に親しみながら健康な生活を送りたいと思います。市内の市民農園はどのようにすると借りることができですか？

案内

「声のラン」では、おもに「市長への手紙・ポスト」や「広報広聴モニター」の声と、その答えをご紹介します。そのほか皆さんからの一般的な質問などもご紹介しますので、普段から疑問に思っていることなどを、お手紙などでお寄せください。ただし、ほかの市民にも参考になる内容を採用させていただくため、個人的なことなどすべてを掲載することはできません。また、質問の内容を確認する必要上、お手紙には必ず連絡先と名前をご記入ください。【〒066-8636 / 千歳市東雲町2丁目34 / 千歳市企画部広報広聴課 宛】

農林振興課調整計画係
☎(24)0610